

令和4年

雲南市議会 6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和4年6月10日～6月15日】

令和4年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/10(金) 9時30分～	17／藤原 信宏	一括	1～3	11	6/14(火) 9時30分～	6／梶谷 佳平	一問一答	23～25
2		2／安田 栄太	一問一答	3～4	12		3／児玉 幸久	一問一答	25～28
3	6/10(金) 13時00分～	5／鶴原 能也	一問一答	4～7	13	6/14(火) 13時00分～	1／多賀 法華	一問一答	28～31
4		8／上代 和美	一問一答	7～10	14		16／細田 実	一問一答	31～31
5		18／矢壁 正弘	一問一答	10～12	15		15／周藤 正志	一問一答	31～34
6	6/13(月) 9時30分～	7／宇都宮 晃	一括	12～16	16	6/15(水) 9時30分～	12／中村 辰真	一問一答	34～37
7		10／中林 孝	一問一答	16～18	17		11／松林 孝之	一問一答	37～39
8	6/13(月) 13時00分～	9／足立 昭二	一問一答	18～19					
9		13／原 祐二	一問一答	19～21					
10		4／上代 純子	一問一答	21～23					

令和4年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

令和4年6月3日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	17	藤原信宏 (一括)	1. コロナ禍における指定管理者への支援について 2. 民生委員・児童	<p>令和2年早々から続く新型コロナウイルス感染症により、指定管理者は、様々な工夫を施して公の施設を運営し、利用料金が大幅に減少するなどの影響を受け、管理運営に苦心している。根本的な施設機能の維持や市民へのサービス提供に支障を来たさないよう、早期の財政支援が必要と考える。</p> <p>(1) 令和4年度からの指定管理料の決定に、コロナ禍における管理費の収支実績が考慮されているか。</p> <p>(2) 施設利用者の大幅な減少は、利用料金を運営の大きな柱としている施設にとっては致命的である。今定例会に、特に影響が大きい温泉・宿泊施設、観光施設の内、9施設に限って支援金交付が示された。温泉・観光・宿泊施設やスポーツ・文化芸術施設等の利用料金の落ち込みに対しては、全施設の早期支援が必要と考えるがどうか。また、9施設における決算後の追加補填の考えは如何か。</p> <p>(3) 利用料金の収入減の補填について、集会施設等も含めた全施設を対象とすると共に、全指定管理者が施した感染症対策について調査し、一定基準に基づく補填をすべきと考えるが、如何か。</p> <p>(4) 感染症を不可抗力と定義づけ、危機管理、衛生行政として市で対策を施すことについて見解を問う。</p> <p>(5) このところの燃料代と電気代の高騰も運営を大きく圧迫している。予算超過分を年度末清算等に反映する方針を早期に示すべきと考えるが、市の所見は。</p> <p>(1) この質問は、令和元年9月にも行った。その答弁は、「報償費の</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>委員の活動環境の整備について</p> <p>3. 自伐型林業の育成について</p>	<p>増額は難しく、負担軽減の取組みを重視したい。地域や社協、行政機関との連携体制を推進し、負担軽減が図れるよう進めて参る」との趣旨であった。活動環境の整備について、この3年間どう進めてきたのか、伺う。</p> <p>(2) 社会状況の変化に伴い業務が多様化し、負担が増すばかりなのは、民生委員の役割や活動範囲が非常に不明瞭なためで、負担軽減に向け「対応しない範囲」を整理すべきである。関係団体や地域と連携して、委員の役割と活動を明確化すること、そして、安心して引き受けられ負担の軽減にもつながるように、今後も活動の見直しとサポート体制づくりを進める必要があるが、所見を伺う。</p> <p>(3) なり手の裾野を広げるには、仕事や介護をしながら、或いは趣味に興じながら委員活動を行っている方々のロールモデルや事例を紹介する等、担い手候補の不安を取り除き、無理なく活動を続けられること、併せて具体の軽減策を示すなど、積極的な周知の工夫が必要と考えるがどうか。</p> <p>(4) 市として、民生・児童委員協議会と協議の上で、1つに交付税算定基礎額の増額や支援体制充実のための財政支援の強化、2つに、調査書・意見書を真にやむを得ない場合に限定すること、3つに、活動記録の簡易化、等について、市長会等を通じて県や国に対し強く要望されたいがどうか。</p> <p>(1) 今、自伐型林業が、国土の7割を占める山林を活用する「地方創生の鍵」として期待され、全国各地で広がっており、本市でも林業施策の1つの指針とすべきと考える。森林を守り育てながら副業的生業として地域で暮らす自立・自営、小規模な自伐型林業の新たな</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>動きを、どう捉え評価しているか。また、本市の山林及び林業環境における自伐型林業の適応性については、どう考えるか。</p> <p>(2) 効率やコスト的に自伐型林業はあくまで傍流だ。行政が受け入れ、うまく2形態を線引きして連携・組織強化を図っていくことが重要である。時代の要請とも言える自伐型林業の推進をどう考えるか。</p> <p>(3) 何よりも行政や大規模林業者のバックアップと担い手育成支援が不可欠である。指導・研修や適地フィールドの斡旋、長期安定的な経営が行える事業体の育成などの育成支援、また作業道開設や機械購入の資金補助など、具体的な施策展開の考えはないか。</p> <p>(4) 林業従事者の裾野を広げ、森林再生と移住促進の両方が期待できる「地域おこし協力隊」による自伐型林業推進の考えについて、問う。</p>	
2	2	安田 栄太 (一問一答)	1. 消防団について	<p>(1) 大東方面隊自動車分団の初動体制について、3月定例会の一般質問で協議を継続していくとの答弁があった。その後4度出動しており、いずれも人員がそろわず出動した経緯がある。基本的な初動体制の確保に向けた協議は進めつつ、応急的にも対応をしなければならないと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 消防団員の団員報酬について総務省より報酬等の基準が示されている。</p> <p>① 総務省が示している団員報酬の標準額と本市の報酬額の差についてどう捉えているか見解を伺う。</p> <p>② 団員報酬を団員個人に直接支給することとなっているが、そのように対応するのか見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 市内キャンプ場 について</p> <p>3. 観光施策につい て</p>	<p>(1) 市内キャンプ場は、コロナ禍においてアウトドア人気の高まりとともに、個人の利用客が増加している。しかし、これまであった市内外からのスポーツ合宿等の団体客の利用がなくなった。今後、コロナ禍での活動制限が緩和されていくにつれ、合宿も再開され全体的に利用の増加が見込まれる。</p> <p>① 市長の考えである、スポーツ文化活動の積極的な推進により、関係人口の増加を進めていく事が出来ると思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>② 施設の老朽化が目立つ。特に利用客からトイレの洋式化を求める声があるようだが、改修する計画はあるのか。</p> <p>(2) 管理人の人手不足があるようだが、現状の指定管理料では新たに人手を増やすことが難しいようだ。指定管理料の見直しが必要ではないか。見解を伺う。</p> <p>(1) コロナ禍で冷え込んだ観光も、徐々に再開されつつある。</p> <p>① 「うんなん泊まってお得キャンペーン」のような、宿泊・観光の消費喚起支援事業を行う予定はあるか。</p> <p>② 外国人観光客の受け入れを再開するようだが、本市の外国人観光客へのPR、情報発信は出来ているのか。</p>	
3	5	鶴原能也 (一問一答)	1. 木次線の存続に ついて	<p>J R 西日本が、木次線など利用者が少ないローカル線の収支を初めて公表し、J R 単独での運行継続は非常に難しいとの認識を示して以来、廃線を心配する声が大きくなった。</p> <p>(1) 「木次線の活用を観光列車に頼りすぎているのではないか」という声を多く聞くが見解を伺う。</p> <p>(2) 今後、も人口減少や道路整備に伴うバス路線の充実など環境変化が見込まれる中で、生活路線としての木次線の利用促進をどのよう</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南市内の小・ 中学校教育環境の 充実について	<p>に考えているのか。</p> <p>(3)「乗る環境を整えていくことが利用促進にとって1番重要」と述べられているが、市長が考える「乗る環境の整備」とは具体的に何か。</p> <p>(1)学校図書館について</p> <p>①2021年度学校図書館整備施策に関するアンケート調査の結果、雲南市の小学校、中学校1校当たりの図書購入予算額は県内8市で最も少ないが、配分額は適正なものと考えているか伺う。</p> <p>②30年前に発刊された、資料データが古くなった児童用百科事典、図鑑が本棚に整然と並んでいる風景の感想を伺う。</p> <p>③学校司書の配置については、現在市内小・中学校22校中、12校にしか配置されていない。学校司書の仕事・役割の重要性の認識と今後の配置に向けた考え方を伺う。</p> <p>④文部科学省は、図書館整備に関する2022年度からの5カ年計画を策定し、学校図書館に複数の新聞を置くように通知しているが市内小・中学校における取組状況を伺う。</p> <p>(2)教育振興会費、PTA会費が学校、こども園などの施設整備、備品の購入に使用されている現状をどう認識されているのか伺う。</p> <p>(3)今年度、小・中学校のトイレ(99器)の洋式化が計画されているが、今後の洋式化の計画と、プールなどの施設内のトイレの洋式化の計画について伺う。</p> <p>(4)スポーツ庁は公立中学校の休日の部活動指導を、2025年度までに地域や民間に委ねる「地域移行」を目指す提言案を示した。教師の長時間労働の一因と指摘されている休日の部活動、「地域移行」に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 雲南市農業ビジョンについて	<p>よって教師の働き方改革が進むことが期待されるが、雲南市の考えと今後の取り組みについて伺う。</p> <p>平成 30 年度から 5 年間で計画期間として策定された雲南市農業ビジョンが今年最終年度である。</p> <p>(1) 法人組織継続へ向けた後継者対策として、ネットワーク組織：鍋山担い手ネットワーク、合同会社元気ファームズよしだが設立されたが、十分に機能しているのか現状評価と課題・問題点を伺う。また、今後新たな組織を作る計画について伺う。</p> <p>(2) 新規就農者の育成確保について、「就農パッケージの作成を推進し、就農者確保に繋げる」とあるが、しまね就農支援サイトを見ると、畜産（繁殖和牛）に雲南市パッケージが掲載されているのみで、野菜類、果樹類の「雲南市の就農パッケージは、現在検討中です」と掲載されている。策定されていない理由を問う。また、4 年間の新規就農者数と新規認定農業者数、それぞれ目標数字に対する達成率を伺う。</p> <p>(3) 水田農業の振興について</p> <p>①ブランド米「雲南市プレミアムつや姫たたら焔米」について、令和 3 年度の作付面積は拡大したものの、焔米認定率は 51.9%と前年より 23.1 ポイントと大きく低下した。令和 4 年度、栽培面積の拡大、品質保持と収量増の両立を目指すとされているが、栽培面積拡大の取組みと生産農家に対する品質保持と収量増のための指導内容を伺う。</p> <p>②令和 4 年度水田活用の直接支払い交付金の拡充・見直しにより、交付対象水田の考え方、飼料用米、米粉用米の産地交付金の見直し</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>が示されたが、生産農家に対し、いつ、どのように変更内容を周知されたか伺う。</p> <p>(4)園芸作物生産の振興について、食の幸発信推進事業ハード事業の中止や新型コロナウイルス感染症まん延による影響をどのように認識され、どのような対策をとられるのか伺う。</p> <p>(5)鳥獣被害防止の取り組みについて、今後のイノシシの捕獲頭数の増加を見込んだ商品化と販売先の確保、事業化の可能性、これに基づく食肉処理施設整備についての検討状況を伺う。</p> <p>(6)新たな雲南市農業ビジョンは策定されるのか。</p>	
4	8	上代和美 (一問一答)	1.「平和を」の都市宣言に基づいた具体的な発信について	<p>(1)市長は施政方針で、永井隆記念館リニューアルオープン1周年を記念し、吉永小百合さんを招いて「平和を願い 永井隆博士に寄り添って」と題した詩の朗読会を7月10日に開催すると表明された。すばらしいゲストを迎えられたと思っている。そして、「世界で平和が叫ばれている今だからこそ、この詩の朗読会を通して、市民の皆様が平和について改めて考えていただく機会としたい」と述べられた。以下、市長の平和についての考え方を問う。</p> <p>①国連憲章を真っ向から踏みにじったロシアのウクライナ侵略がまだまだ続けられ、無辜の命が多数犠牲になるという事態に終息の兆しはまったく見られない。いま大切なのは、どうやって侵略を終わらせるかである。そのためには「侵略やめよ」「国連憲章守れ」の一点で全世界が団結しロシアを包囲し、国連憲章に基づく平和の秩序を回復することだと思うがどうか、市長の見解を伺う。</p> <p>②また、このウクライナ危機に乗じて、国内では「軍事には軍事」「核には核」という危険な議論が出てきている。今、戦争か、平和か</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市民の暮らしを守るための全力の取り組みについて	<p>日本の進路が問われている。私は、このような力の論理ではなく、戦争をおこさないための憲法9条をいかした積極的な外交に知恵と力を尽くすことが政治の役割であると考えているが、「核抑止」「核共有」「敵基地攻撃」など力の論理について市長の見解を伺う。</p> <p>③岸田首相は「核抑止がいよいよ大切」と言い、5月23日のバイデン米大統領との会談で核兵器と通常戦力で拡大抑止を確保するために、いっそうの同盟強化をすると約束した。軍事対軍事でエスカレートすることが一番危険ではないか。「核抑止」とは「いざとなったら核をつかう」ことが前提である。核兵器使用の現実味が大きくなってきている。唯一の戦争被爆国である日本の政府として、本気で核兵器をなくす気持ちがあるならば、核兵器禁止条約に日本は参加をすべきである。6月21日から23日核兵器禁止条約締約国会議があるが、オブザーバー参加もいまだ決まっていない。「平和を」の都市宣言を掲げている雲南市として、また、平和首長会議に参加している首長として、政府に対して、核兵器禁止条約の早期締結を求める要請書を提出すべきではないか。市長の見解を求める。</p> <p>④「軍事対軍事」のエスカレーションは大軍拡を招くことになる。自民党は5年以内に軍事費を今の2倍の11兆円以上にしている。財源を「消費税増税」か「社会保障削減」に求めるならば、暮らしが押しつぶされてしまう。大軍拡は平和も脅かすし、暮らしも脅かすことになるが、市長の見解を求める。</p> <p>(1)急激な物価高が暮らしを直撃し、いま市民から大きな悲鳴が上がっている。急激な物価高騰は「新型コロナ」や「ウクライナ侵略」だけでなく、アベノミクスの金融政策である「異次元の金融緩和」</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>による「異常円安」が大きな原因である。生活に必須なものの一斉値上げは個人の努力ではのりきれない。それに追い討ちをかけるように、6月からの年金引き下げ、10月からの医療費2倍化への不安が広がっている。市が出来うる最大限の取り組みをし、市民の暮らしを守る必要がある。以下、いくつかの提案をし、市長の見解を問う。</p> <p>①住民税非課税世帯等に対する10万円の臨時特別給付金の支給状況は現在9割と担当課から報告があった。支給条件がある方には全て支給できるよう、「確認書」の提出がまだの方には、市から案内をするなど、待ちではなくプッシュ型の取り組みをすべきではないか伺う。</p> <p>②国保料は当初予算で据え置きということだったが、これだけ物価が高騰している今、基金を取り崩して保険料の軽減を図るべきであるが見解を伺う。</p> <p>③これまで学校給食費の無料化または負担軽減を求めてきたが、今の物価の高騰は、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食が実施できるのか非常に不安である。保護者負担が増えることはあってはならない。憲法では義務教育費の無償がうたわれている。コロナ禍、物価高騰で苦しんでいる子育て世帯への支援のため、今こそ学校給食費の無料化に踏み出すべきではないか見解を伺う。</p> <p>(2)地域を回ってみると、農業者の疲弊は大変なものがある。「農地を守るために今までがんばってきたが、今のような農政ではとても続けられない」「耕作放棄地がどんどん増えている。食料自給率の低下があまりにもひどい。インボイス制度が導入されれば、農業が続</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>けられない」「近所で今年から米やめたといっている」などの声を聞く。</p> <p>①米価下落は農家にとって影響が非常に大きい。コロナ禍による過剰米は基本的には政府買い入れで暴落した米価を回復させなければならないが、市としても出来る最大限の支援をするべきである。県下でも令和3年は5自治体が、令和4年は今現在2自治体は何らかの米価下落対策を行っている。支援の考えはないのか見解を伺う。</p> <p>②畜産農家からは、飼料の高騰が単位あたり400円も値上がりしており、これからもっと高くなると懸念されていた。飼料高騰分の支援に臨時交付金を財源とすることが可能である。経営支援として考えるべきではないか見解を伺う。</p>	
5	18	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 新型コロナウイルス感染症について	<p>(1) ワクチン接種の状況について</p> <p>①追加接種(3回目)の実施率が、年代が低いほど低調と聞くが理由と対応を伺う。</p> <p>②5～11歳、12～19歳までの接種率も低調だ。接種による子供への副反応を心配する保護者の声を多く聞くが十分な説明がされ理解が得られているのか。</p> <p>③オミクロン株 BA-4・5 による第7波が懸念される。3回目の接種及び5～19歳までの接種に十分な理解を得つつ接種率のアップに努力すべきと考えるが市長の見解は。</p> <p>(2) 臨時休校、学年閉鎖等の対応について</p> <p>①新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、多くの学校が臨時休校、学年閉鎖等の措置が講じられている。閉鎖中の子どもたちへの対応</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. スポーツ振興について	<p>は。タブレットは有効に活用されているのか。</p> <p>②休校等の措置による学業の遅れはないか伺う。</p> <p>③休校等で外出が規制され、全国的に鬱状態となる子どもが増えていると報道された。本市の状況は。</p> <p>(3)部活動、スポーツ少年団等の活動について</p> <p>①県の指導に対し各市町において対応が様々だ。高校総体、中学総体を前に十分な練習や対外試合が組めないことで不満が募っている。本市は県の指導に従い感染者数は抑えられているが、他市と比較し条件が厳しいことで不満があることを理解しているのか。</p> <p>②スポーツ少年団の活動においても、競技ごとに対応が様々で不公平感を抱えている団もある。コロナ禍の活動について教育委員会で基準を定めているのか。定めていなければ統一の基準を定めるべきでは。</p> <p>(1)令和12年(2030年)に島根県において、第84回国民スポーツ大会、第29回全国障害者スポーツ大会の開催が予定されている。</p> <p>①本市は、ソフトボールとレスリングの開催が決定しているが現在の準備状況は。</p> <p>②ボート競技やクレール射撃なども候補地として上がっていたと思うが結論は出たのか。</p> <p>③開催まで8年と迫っている。今後、老朽化が進んでいる野球場の改修、レスリング会場の整備とハード事業も実施されていくと思われるがスケジュールは。</p> <p>④選手の強化育成状況は。</p> <p>⑤市民の気運を醸成するための対策は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. ドクターヘリ離 発着場整備につい て	<p>(2)総合型地域スポーツクラブについて</p> <p>①本市では、大東、加茂、三刀屋の3町においてそれぞれの活動が行われている。地域住民による自主的・主体的に運営されるスポーツクラブではあるが、現在設置されていない木次、掛合、吉田町についてどのように取り組まれているのか。</p> <p>②市内全町に設置できれば、国民スポーツ大会を控え選手の育成強化に繋がると考えるが。</p> <p>③国民スポーツ大会後のスポーツ振興や部活動の校外指導者の派遣など多岐にわたる活動が期待されると考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)市立病院建設時に新本館棟屋上へのヘリポート建設を提案したが、建設費用が増額となるため見送られた。ただし、ヘリポートそのものの必要性はあることから病院を中心に半径500mの中に用地を確保し、常設のヘリポートを整備することとなっていた。現在、計画は進展しているのか。</p> <p>(2)昨年の7月豪雨災害のように異常気象が続くなか、本市も災害に対応できるきちんとした常設のヘリポートを整備すべきと考えるが見解を伺う。</p>	
6	7	宇 都 宮 晃 (一 括)	1. 原子力の正しい 理解について	<p>(1)情報伝達について</p> <p>「原子力」「放射線・放射能」について「危険」「難しい」「とっつきにくい」といったネガティブな印象を持つ人もいる。その理由は「東電福島第一事故を思うと怖い。不安である」「とにかく専門用語が多い」といった答えである。</p> <p>さらに、「原子力」「放射線・放射能」に関する情報源はテレビ、新聞、インターネットのようにメディアからの情報入手が多いと思</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>われる。しかし、日本全土を震撼させた 2011 年 3 月 11 日の東電福島第一事故の報道ひとつをとっても、各局・各新聞ではさまざまに報じられた。事実が正確に報じられているものもあれば、一方向から評価されているものもある。</p> <p>人間は何故か「安全だ」というキーワードより「危ない」というネガティブなキーワードに目がとまり易く、心理的に共感をおぼえたりするものである。メディアの多くは「危ない」を重視する。メディアが評判、世論を気にする傾向にある中、正しく怖がり、冷静に判断するためにはどのように情報を伝えていけば良いのか考え方を伺う。</p> <p>(2)放射線の利用について</p> <p>原子力とは何か。ニュースなどで耳にする「原子力発電」や「放射能」。私たちの生活とどのようにかかわっているのか。「原子力利用」は大きく分けて「放射線の利用」と「エネルギーとしての利用」の 2 つがある。最初は放射線の利用である。私たちは普段、放射線を目で見たり、肌で感じるなど人間の五感で認知することはほとんどない。しかし、毎日の暮らしの中で放射線を受けている。例えば宇宙からは、太陽や星が放つ放射線が地球にも降り注いでいるし、大地で育つ食物やそれを食べる動物にも放射性物質は存在しているので、食物や呼吸を通じて体内に取り込まれて、体内でも放射線を受けている。一方、放射線は健康診断などの X 線検査で、体の外から X 線を照射し、透視画面から体内を診断する。また、ジャガイモの発芽防止、医療機器などの滅菌、ゴムやプラスチック製品の強度向上など日常生活に役立っている。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>放射線の利用に関するリスクとベネフィットについての所見を伺う。</p> <p>(3)エネルギーとしての利用について</p> <p>「エネルギーとしての利用」の電力は、発電所から供給されている。その発電所の多くは、さまざまなエネルギー源による動力で発電機を回して電気を発生させる。この動力に何を使うかによって「火力発電」や「原子力発電」というように発電方法が変わる。原子力発電は火力発電のボイラーを原子炉に置き換え、燃料のウランを核分裂させて得た熱エネルギーで水を沸騰させる。あとは、火力発電と同じ仕組みである。</p> <p>原発の燃料には、ウラン 235 を濃縮して利用する。ウラン 235 に中性子がぶつかると核分裂する。このとき新たに 2～3 個の中性子が発生し、この中性子が別のウラン 235 にぶつかると、また核分裂し、さらに中性子が発生する。このような反応がゆっくりと連続して発生する仕組みを利用したものが原子力発電である。エネルギーとしての利用における問題点を問う。</p> <p>(4)原子力技術の有用性について</p> <p>私たちの日常生活は電気なしには考えられない。電気の安定供給が重要である。電気を供給する電源には、火力や水力、太陽光、風力そして原子力がある。東電福島第一事故後、全国の原子力発電所が停止し、原子力を除く電源で日本の電気は賄われ、原子力発電所の稼働がゼロでも停電は起きず、「原子力発電はなくても大丈夫」との声もある。</p> <p>日本はエネルギー源のほとんどを輸入に頼っており、現在の自給</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>率は約 6%、先進国の中でも最低のレベルである。自給率向上が謳われている食料自給率は約 40%、東電福島第一事故前は原子力発電による電力供給が行われており約 20%であった。では、なぜ停電しないのかというと、どれかの電源が何かの原因で使えなくなっても、他の電源がバックアップできる対策がとられているからである。バックアップの最も大きな担い手は火力発電であるが、その燃料である石油、天然ガスは、政情が不安定な国からの輸入に依存しているため、燃料供給が途絶える不安がある。一方、地球環境問題に目を向けると、地球温暖化による気候変動の影響は、地球上に頻発している。その大きな原因は二酸化炭素の排出増加である。二酸化炭素の排出増加の大きな原因は火力発電であり、世界各国がこれに代わる発電の必要を考えている。原子力発電は、発電時に二酸化炭素を排出しないので地球温暖化防止に大きな役割を果たすことができる。以上述べたように原子力発電の有用性も考えられる。このような原子力技術の有用性をアピールすべきと感じるが所見を伺う。</p> <p>(5)世界に原子力技術を提供する意義について</p> <p>東電福島第一事故後、ドイツなどのように脱原子力政策に転じた国もあるが、世界全体で見ると原子力発電の導入・増設が進展している。米国、中国、韓国での新規着工に加え、イランや UAE など建設工事を進めている。日本においても原子力規制委員会と改正原子炉等規制法の下で既存の原子力発電所が再稼動し始めている。</p> <p>日本は唯一の被爆国として、これまで世界の原子力の平和利用の推進を指導してきており、原子力安全・核セキュリティ・核不拡散などの分野で期待される役割は大きい。また原発事故の当事国とし</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 再生可能エネルギーについて	<p>て事故の経験と教訓をいかして、世界の原子力利用の安全性向上に貢献していくことは日本の責務であると考えます。</p> <p>一方、日本には原子力に関する重要な技術を有する企業があり、原発事故の経験と教訓を学び、さらに安全性を高めた原子力技術を世界に提供したい。</p> <p>世界で原子力発電の導入・増設が進展し、多くの稼働する原発がある中、日本の原子力技術が果たす役割は非常に重要と考えるが、どのように考えておられるか伺う。</p> <p>(6) 放射性廃棄物の処理・処分について</p> <p>原子力発電所で発生した放射能レベルが比較的低い廃棄物については、青森県にある日本原燃の低レベル放射性廃棄物埋設センターにおいて浅地中ピット処分がおこなわれている。しかし、それ以外については、処分場の場所などが決まっておらず、今後の課題となっていることに対する所見を伺う。</p> <p>脱炭素宣言をするに当たり、再生可能エネルギーの果たす役割は大変大きい。ただ、再生可能エネルギーにも各種の問題点はあるが、再生可能エネルギー先進国の技術、日本の業界・大学の研究力、政府の支援等で解決できると考える。</p> <p>雲南市として例えば、太陽光パネルを設置して市民の皆様にアピールするようなことは如何であろうか伺う。</p>	
7	10	中 林 孝 (一問一答)	1. たたらの継承と活用について	<p>(1) 公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団の経営状況と現況に至った経緯、理由について伺う。</p> <p>(2) 今後、同事業団をどうするか。経営方針や態勢、鉄の歴史博物館のあり方について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 広域観光について	<p>(3) 雲南市和鋼生産たたら体験交流施設を今後どうするか。</p> <p>(4) 鉄の未来科学館を今後どうするか。当初の設置目的を放棄するか、原点に立ち返って再生させるか伺う。</p> <p>(5) たたらを学校教育に取り入れることについて所見を伺う。</p> <p>(6) 鉄の道文化圏推進協議会の活動状況、現状の総括、今後の対応方針について伺う。</p> <p>(7) 雲南市たたらプロジェクト会議の活動状況と成果について伺う。</p> <p>(8) たたらを軸とした産官学の連携について所見と今後の進め方について伺う。</p> <p>(9) たたらを活用した体験型観光、民間との連携により地域の活性化を図るべきではないか。</p> <p>(10) たたらサミットの開催やたたらを軸としたMICE需要の取り込みへの所見を伺う。</p> <p>(11) たたら及び関連施設を世界遺産として登録を目指してはどうか。</p> <p>(1) 「トロッコ列車」の運行終了後の「あめつち」の木次線入線は本市の観光に活かせるか。</p> <p>(2) 木次線利活用推進協議会内に設置された観光誘客プロジェクトチームの目的、取組内容、活動状況について伺う。</p> <p>(3) 広域観光の意義と必要性について伺う。</p> <p>(4) 本市が進めようとしている広域観光の「広域」とはどのような概念か。</p> <p>(5) 広域観光の「広域」の中にはどのような観光資源があり、どう活用していくか。雲南市の発展にどのように寄与させる考えか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(6) 広域観光を進めるにあたり関係諸団体(雲南広域連合、観光協会、商工会など)との連携をどのように考えるか。その中で、本市が果たすべき役割は何か。</p> <p>(7) 中海・宍道湖・大山圏域市長会への参加希望の意図は何か。本市の発展に寄与するか。</p>	
8	9	足立昭二 (一問一答)	<p>1. 会計年度任用職員(特に幼稚園・こども園・保育所関係)制度について</p> <p>2. 斐伊保育所業務委託計画見直しについて</p>	<p>(1) 雲南市に従事する職員の職種別(一般職、会計年度フルタイム・パートタイム職員等)人数(5月1日現在)は。</p> <p>(2) フルタイム会計年度職員とパートタイム会計年度職員の違いは何か。</p> <p>(3) 今年度保育所、こども園では、昨年度フルタイム会計年度職員が今年度パートタイム会計年度職員に任用変更されたところがある。その理由は何か問う。対象者に対してはどのように対応されたか。</p> <p>(4) 幼稚園・保育所、こども園における会計年度任用職員の募集内容と採用に至るまでの流れを問う。</p> <p>(5) 「子育てするなら雲南市」を掲げる雲南市。いろいろな施策は出されているが、施策を遂行する職員、特に会計年度職員への対応、処遇の改善が必要と考えるが市長の所見を問う。</p> <p>(1) 5月18日教育民生常任委員会において、令和5年4月から計画されていた斐伊保育所業務委託を見直す、と報告された。その理由として「木次子育て支援センターの今後の方針の再検討」などあげられたが、詳しい経過説明を求める。</p> <p>(2) 斐伊保育所業務委託計画は、今回だけでなく再検討され延期されている。本当にやる気があるのか疑問に思う。今回の延期でどのような影響が予想されるのか問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 原子力災害に備えた雲南市広域避難計画について	<p>(3)3月議会でも述べたが、業務委託を再検討するべきと考えるが市長の所見を改めて問う。</p> <p>(1)「うんなん再生エネルギーの会」は5月14日、「原子力災害！そのときあなたはどうか逃げる！in雲南」を開催した。市の広域避難計画に基づいたシミュレーションによる避難体験のワークショップを行った。防災部からも参加されたが、防災部としてどのような評価をされているか問う。</p> <p>(2)実効ある避難計画にするには何が課題か。今後、市としてどのような取り組みをして行くのか市長に問う。</p>	
9	13	原 祐 二 (一問一答)	1. 指定管理者制度について	<p>(1)本市では、指定管理者の指定の手続きに関する条例、指定管理候補者選定委員会条例、個別施設の設置条例を制定している。条例で規定するもの以外は、運用指針(ガイドライン)において基本的な考え方や取り扱い等を示しているが、運用指針(ガイドライン)は公表されていない。県及び県内各市の公表状況、官民協同事業の適正運用へ向けた公表を問う。</p> <p>(2)本市の運用指針(ガイドライン)は、課題や制度改正、モニタリングを踏まえた見直しが適宜行われているかを問う。</p> <p>(3)指定管理者選定委員会は、7人以内で構成し、外部の有識者と職員(部局長)で構成し、職員の人数が外部有識者の人数を上回らないようにするとされている。</p> <p>選定委員会における識者の参画状況(令和3年度実績)、選定過程における透明性を高め、客観的な観点から公正・公平な選定ができているかを問う。</p> <p>(4)指定期間の設定は、運用指針に則り設定されているか、見直しの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 行政のデジタル サービスについて	<p>必要性を問う。</p> <p>(5) 指定管理におけるリスク分担について、不可抗力(豪雨などの自然現象、感染症などの人的現象)に起因するリスク負担と財政支援を問う。</p> <p>(6) 新型コロナウイルス感染症にかかる、国の事業復活支援金や県及び市の経済対策支援金等について、指定管理者の活用状況を問う。</p> <p>(7) 利用料金制及び利用料金併用制を導入する施設の収支について、適正利益とインセンティブのあり方を問う。</p> <p>(8) 指定管理施設の機能維持に必要な修繕費及び修繕計画についての状況と所見を問う。</p> <p>(9) 指定管理の経費(支出見込み額)算出における、人件費及び備品購入費の積算方法を問う。</p> <p>(10) 指定管理者制度の評価と今後の課題について、市長の所見を問う。</p> <p>(1) マイナンバーカードについて</p> <p>① 本市におけるマイナンバーカードの世代・性別等による普及状況を問う。</p> <p>② マイナンバーカードの利活用について、現状と今後の見込みを問う。</p> <p>(2) 行政のデジタルサービス(キャッシュレス決済等)について</p> <p>① 県及び県内各市町における、行政のデジタルサービス(キャッシュレス決済等)の取り組み状況を問う。</p> <p>② 本市における、行政のデジタルサービス(キャッシュレス決済等)の前年度の取り組み状況と今後の見込みを問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(3)行政のデジタルサービスについて、市長の所見を問う。	
10	4	上代純子 (一問一答)	1.産後ケア事業等の推進と男性の育児参加について	<p>(1)雲南市立病院において、生後4か月未満の乳児と母親を対象に、出産後の育児不安の解消や産後の体調回復等を目的とした、産後ケア事業が実施されている。ショートステイ(宿泊型)、デイケア(日帰り型)のそれぞれの利用状況や、妊娠中からの利用についての問い合わせも可能だが相談状況はいかがか。</p> <p>(2)利用日数は通算7日以内となっているが、利用者の方から期間の延長を望まれる声はないのか伺う。</p> <p>(3)少しでも母親の負担軽減につながるように、産後ケア事業制度を活用して、雲南市で安心して子育てができるよう広くPRしていく必要はないか伺う。</p> <p>(4)市立病院における出産後の栄養指導の対応について、出産入院中の病院食で配慮している点があるか伺う。</p> <p>(5)男性版産休といわれる「出生時育児休業制度(産後パパ育休)」が本年10月からスタートする。男性の育児参加により子どもを産み育てやすい環境づくりを目指すこととされているが、雲南市としては、一般的にこの制度をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(6)市内の各事業所における男性の育児休暇取得率など、把握されているのかわかる範囲内で伺う。また、市職員の男性の育児休暇取得率はいかがか。</p> <p>(7)全般的に男性の休暇や育児休業は取得しづらいと聞く。それはどういう理由だとお考えか伺う。</p> <p>(8)夫婦で仕事と子育てを両立することが重要と考える。こうした制度について、市として各事業所や市職員に対して制度や取得を促す</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 女性支援新法について</p> <p>3. 他自治体からの 応援職員を受け入 れる「受援計画」に ついて</p>	<p>ような周知は考えられないか。</p> <p>(1)DV、性被害、生活困窮に苦しむ女性への公的支援を強化する「困難な問題を抱える女性支援法」が成立し、国と自治体は支援に取り組む責務があるとされた。全国的にこうした被害が増加していると聞くが、雲南市でもこのような事例があるとすれば、どのように対応されているのか伺う。</p> <p>(2)このような悩みを公的支援に結び付けるために、民間団体と連携した取り組みや、相談窓口の設置などは考えられないか伺う。</p> <p>(3)成人年齢が18歳に引き下げられたことにより、親の同意を得なくても、自分の判断と責任でさまざまな契約を結べるようになったことから、若年層が詐欺的商法によりアダルトビデオの出演強要やデート商法など性被害に遭うことも考えられる。デリケートな問題だけに、悪質業者のターゲットにならないための啓発も必要ではないかと考えるがいかがか。</p> <p>(4)女性支援新法は、国は基本理念、都道府県は基本計画、市町村は計画策定を努力義務とするが今後、雲南市はどのように対応されるのか伺う。</p> <p>(1)雲南市は、今年の豪雨災害の際には各方面から応援をいただいている。今後の災害発生時に、速やかに他自治体からの応援職員を受け入れる必要があるが、受援計画の策定は終わったのか。</p> <p>(2)計画が出来ていない場合は、策定計画はいつか。</p> <p>(3)職員だけではなく、自衛隊や消防機関、医療機関、または一般ボランティアの受け入れも考えられるが、受け入れ体制はどのようになっているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. コロナ禍における飲食店への対応について	<p>(4) 雲南市から他自治体へ応援に行く場合も想定されるが、応援計画や派遣体制はどのようになっているのか。</p> <p>(1) コロナ禍において疲弊する事業者に対しては、様々な支援事業で対応がされているが、これまでの事業者支援事業の利用状況や効果、また執行率の状況はいかがか。</p> <p>(2) 支援事業の中で、事業者に好評だったのが、飲食・タクシー業消費喚起支援事業の商品券だったと聞いている。参加事業者が自ら販売することにより、冊数分の現金を即座に得ることができ、仕入れなどの事業経営費に充てられることで、メリットの大きな事業であった。そうした事業者にとって有効な事業を、改めて実施する考えはないか。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対策として、これまで飲食に際して4人以下2時間以内の制限があり、飲食店には客足が遠のいたと感じる。今回5月24日からは雲南市においては12人以下3時間以内に制限が緩和され、飲食業店は今後の消費に期待している。しかしながら、今後再度感染が拡大し、人数や時間の制限が厳しくなった場合、状況によっては制限の緩和などを島根県に対して要請するような考えはないか。</p> <p>(4) 市職員には、以前からテイクアウトなどによって飲食業を支援いただき助かったとの声を聞く。今後も地元飲食店を率先して利用いただくことで、市民への消費動向や喚起の変化にもつながると感じるが、周知についての考えを伺う。</p>	
11	6	梶谷佳平 (一問一答)	1. 公共用施設等総合管理計画について	昨年3月議会で質問した”公共用施設等総合管理計画”では、使用中止から、設置条例の廃止手続、その後”普通財産検討委員会”	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>て</p> <p>2. 障がい者支援について</p>	<p>で利活用を検討との回答であった。使用中止から、新たな利活用等の方針が決まるまでに相当の年月を要している。昨年3月議会で質した際、スピード感を持つことが必要であり、専門部署の設置を要望した。</p> <p>(1) 市民の税金で建てたもの。当初の目的を終えた場合、地域のため次の有効利用について速やかに検討し活用すべきと思うが、今のスピード感で良いのか、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 旧飯石幼稚園の用途廃止について、今年3月提案があった。平成26年(2014)休園、平成28年閉園(2016)、その後、地域に活用方法を打診。今回、飯石地区として活用しないとの回答があり普通財産化し、施設の処分方法等を検討する事となった。休園・閉園から6~8年も経過して普通財産化である。ここからさらに”普通財産検討会”でその後の利活用を検討する。なぜ、これだけの期間が必要であったのか、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 今回の決定が出るまで目的外使用許可を取り、地域へ活用方法を打診するだけでなく、全国に広くWebで利用者等を募集・貸し出すことはできなかったのか、市の見解を伺う。</p> <p>近年、発達遅延・障がい疑われる子供たちが増加していると聞く。雲南市では、こうした子供達への支援を積極的に展開しており、その活動は保護者にとって大変ありがたい事と思う。そこで、発達障がい幼小中高校で顕在化したことで苦しんでいる保護者や子供たち・学校に向けた支援について伺う。</p> <p>(1) 発達遅延・障がいは、早期発見による支援が重要と聞くが、市の見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 産業振興について	<p>(2)核家族化が進む中、初めて子育てする保護者や経験豊富な保護者でも、子育ての不安・悩みは多いと思う。その不安や悩みを解消することが、大切と思うが、市の見解を伺う。</p> <p>(3)雲南広域福祉会が、障がい児の発達段階に合わせた”療育支援”を実施しているが、ここに通う子供たちは、一日の内数時間“療育支援”を受け、それが終わると幼稚園や保育園で共同生活の支援を受けている。ただ、両施設間の移動は保護者が行わなければならない、保護者の負担は想像以上と思う。保護者に代わって送迎できないのか、市の見解を伺う。</p> <p>(4)G I G Aスクールがスタートした。雲南市では、小中学生の発達障がい者・不登校生に対してI Tに関する支援は、どのようなことを計画しているか、市の見解を伺う。</p> <p>昨年9月議会で私が提案した、“全業種を対象とした第二弾の、雲南市事業継続特別給付金”は、今年の11月臨時議会で可決し、今年2月末まで受付対応された。国は、同時期に“月次支援金制度”を創設、島根県も支援事業を創設し約半年間、中小企業等の事業継続を支援してきた。第6波への対応で国は、事業復活支援金・事業再構築補助金を追加実施した。</p> <p>(1)雲南市として、コロナ第6波に対応する市内企業の生き残り支援が必要ではないか、市の見解を伺う。</p> <p>(2)雲南市内の企業が多く、若者を雇用するため、市としての支援策について伺う。</p>	
12	3	児玉幸久 (一問一答)	1. キャンプ場施設 修繕、利用料金等	<p>コロナ禍もあり、キャンプに対する人気が高まっている。しかし、市管理のキャンプ場では、老朽化したコテージ等の改修やトイレ等</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			について	<p>の環境改善が急務となっている。今後のキャンプ場施設の修繕、利用料金等について市の考えを伺う。</p> <p>(1) 今年のゴールデンウィークの各施設の利用実態は。</p> <p>(2) 各キャンプ場の施設に対する利用者の不満や要望等を市として調査を行い把握しているか。</p> <p>(3) トイレ施設の水洗化・洋式化について、具体的な改修計画があるか。</p> <p>(4) 昨年の豪雨災害でアクセス道路が被災しているキャンプ場がある。早急に復旧工事を行う必要があると考えるが、市の見解は。</p> <p>(5) 水道のポンプ施設の更新が必要なキャンプ場もある。故障すれば営業が出来なくなる恐れがあり早急に対応が必要である。アフターコロナを見据えた観光の立て直しの観点からも、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等も活用してキャンプ場施設の修繕を急ぐべきと考えるが、市の見解は。</p> <p>(6) オートキャンプ場やグランピング等キャンプに対する多様なニーズに対応した新たな施設整備に対する市の考えは。</p> <p>(7) キャンプ場経営の観点からみると、どのキャンプ場も決して良い経営状態となっていないと認識している。軽微な修繕については指定管理者において行っているが、そのための財源の確保が課題である。利用料によりしっかりと収入をあげていかないといけないが、現在の各キャンプ場の利用料金は適正な水準の料金設定となっているか。安過ぎるということはないか。</p> <p>(8) 利用料による収入を増加させていくためには、大きく2つの方向性がある。まずは①利用者人数を増やすこと、そして②提供するサ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 指定管理者制度 について	<p>ービスの付加価値を高め単価を上げること。①については、キャンプ場という性格上、休日・連休時に利用が集中するため、平日の利用者を増やす努力も必要である。②については、利用料金については条例により、その上限が定められており、指定管理者において自由に設定することは出来ない。指定管理者の努力や創意工夫により利用料金の収入を増やしやすいう、料金設定について見直しをしていく必要があるのではないか。</p> <p>(9)市内のキャンプ場で、地元企業から譲渡をして欲しいという要望も出ていと聞いている。財産区分の問題や継続した運営についてのリスク等の問題もあるが、市において予算の関係上なかなか修繕が出来ないのであれば、民間に譲渡してより付加価値のあるサービスを提供できる施設として再整備、運営してもらう方が望ましく、市としても前向きに対応すべきと考えるが、市の見解は。</p> <p>雲南市においても、多くの施設において指定管理者制度を導入しているが、指定管理を受けた団体・事業者等から、制度の運用方法等についての不満足見や要望等を聞いており、今後の雲南市における制度の運用のあり方等について見解を伺う。</p> <p>(1)指定管理の期間が3年間という施設が基本となっているが、指定管理を受けた事業者・団体がそのノウハウを活かして積極的な取り組みを展開し成果を上げていく、専門性やスキルを持つ人材の育成を行い、より高い顧客満足度を得られる施設としていくためには、もう少し長い指定管理期間とすべきではないか。</p> <p>(2)設備のメンテナンスや軽微な修繕については指定管理を受けた団体・事業者で行うこととなっているが、そのための十分な経費を</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 公共施設等総合 管理計画について	<p>指定管理料としてみているか。</p> <p>(3) 指定管理を受けた団体・事業者における努力により、施設利用者が増加し利用料収入が増えると、次の更新の際に、指定管理用がその分減額される。指定管理を受けた団体・事業者のインセンティブに対して、市としてどう考えているか。</p> <p>雲南市では、これまでに整備してきた公共施設、インフラ施設の適正な管理を行っていくため、「雲南市公共施設等総合管理計画」を策定し、施設の統廃合や計画的な更新・大規模修繕を行ってきているが、今後の取り組みについて市の見解を伺う。</p> <p>(1) 第1次方針に基づく取り組みは令和3年度までとなっているが、令和4年度以降の第2次方針の策定状況や、個別施設計画での取り組み状況は現在どうなっているのか。</p> <p>(2) 施設の指定管理を受けている事業者から、空調や音響、照明等の設備が故障しており、市民等への利用に迷惑をかけている状況にあり、早く、市の方針を示して欲しいとの声がある。各施設において、具体的なロードマップを作成し、取組を急いでいく必要があるが、市の考えは。</p>	
13	1	多賀法華 (一問一答)	1. 地域おこし協力 隊について	<p>(1) 地域おこし協力隊制度は、平成21年度に開設された総務省の事業で、人材への投資を直接的にすることで、都市地域から地方への実際の移住定住へむすびつけることができる画期的な制度である。</p> <p>①これまで、地域振興課、政策推進課、うんなん暮らし推進課、農政課、商工振興課など色々な部署でそれぞれ地域おこし協力隊の隊員を受け入れてこられた。受け入れにあたってのノウハウや、受け入れた時の課題や良かったところの整理、情報共有などどのように</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 若者、子育て世代、女性の声の参画について	<p>されているのか。また全体を総括する部署はあるか。</p> <p>②地域おこし協力隊制度は、市町村それぞれが地域の状況や活用方針に合わせて人材を導入することができる制度である。雲南市では介護や林業など様々な分野での人材を求める声があるが、協力隊制度で、そうした声に応えることができるようになる。より積極的な制度活用のため、研修会などを通じて、これまで活用していない部署での活用の検討や部局横断で取り組める体制を検討していただきたいと思うがいかがか。</p> <p>③今までの協力隊の方の意見もきちんと集約して積み重ねていけるような体制が必要だ。総務省でも令和6年で8000人の隊員導入に向けて積極的に制度活用を推進している。制度内容も現場の意見を取り入れてブラッシュアップされている。そうした最新の情報を取り入れた雲南市での活用を考えていただきたいと思うがいかがか。</p> <p>(1)雲南市は住みたい田舎ランキング1位に選ばれたが、これまで、市内在住の方から、「本当にそう思う」と聞いたことが私はまだない。「子育て世代が住みたいまち」のランキングも第1位だが、子育て世代も同様に「そうなの？」と、あまり実感がないようである。3月議会で、雲南市は木次の子育て支援センター「くりおね」を三刀屋の子育て支援センターに統合するという子育て支援センターの縮小と思われる政策案が出された。</p> <p>①利用者の方が雲南市内で最も多い「くりおね」を統合するという案は、子育て世代の方のニーズに合っていないと市は思わなかったのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②木次の子育て支援センターはファミリーサポートセンターの利用も多い。預かりなどのサポート活動は、基本は援助会員の自宅で行うこととなっていると思うが、木次の子育て支援センターの場で援助活動をすることができるようにもなっている。この取り組みは、援助会員も依頼会員も安心でき、非常に有効である。ファミリーサポートセンターの援助会員や依頼会員の方の声もきちんと把握されていたのか。相談や意見交換をされたのか。</p> <p>③統合というと学校の統合の話をよく聞く。そういうときは、保護者だけでなく、地域の意見も聞いてじっくり検討されている。なぜ、今回は利用者の方の話しを聞かなかったのか。若者、子育て世代、女性の意見をないがしろにしているように感じる。今回、「くりおね」がなくなることが半分決定したような状態で利用者の方に知らされた。3月の一般質問のおかげで、早めに統合の話が分かり、署名活動につながり、要望書を提出されたことにより、アンケートや市の説明会が行われた。アンケートはホームページと「くりおね」と三刀屋の子育て支援センターの3箇所だけにしか用意されておらず、アンケートがあったことも知らない方もいる。説明会もお知らせから約2週間後で、行くことができない方もたくさんいたと聞く。その上、最初は、今の利用者の方以外は参加できないと言われたという方もおられ、本当に市民の声を取り入れたいのかとても疑問だ。市は、若い世代の声、子育て世代の声、女性の声をいかしたいと本気で考えているのか。</p> <p>④雲南市が地域ぐるみで本気で解決しないといけないのが、子育ての考え方やワークライフバランスである。本当に雲南市で子育てを</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>してもらいたいと思うならば、本気で地域や職場の意識を変えていく必要があるが、市は本気で、地域や民間の企業をも巻き込んで一緒になって意識を変えていく気はあるのか。</p> <p>⑤意見を取り入れるなら、最後まで大事にすることを大切にして欲しい。今回の「くりおね」の件で利用者をないがしろにしたことは、雲南市の過去の「くりおね」利用者を含む親世代、祖父母世代の市政への著しい信頼感の低下を招いている。今回の「くりおね」の件が、利用者の方の満足度の高い形で解決できることが今までの不信感を払拭するチャンスである。きちんと納得いくよう最後まで声を大切にしていただきたいと思うがいかがか。</p>	
14	16	細 田 実 (一問一答)	<p>1. 脱炭素宣言について</p> <p>2. 人権尊重のまちづくりについて</p> <p>3. 平和行政について</p> <p>4. 防災対策について</p>	<p>(1) 農村における脱炭素宣言の意義について</p> <p>(2) 宣言と今後の具体的な施策について</p> <p>(1) 差別のないまちづくりへの市長の基本姿勢について</p> <p>(2) 水平社宣言 100 年にあたるが本市での取り組みについて</p> <p>(3) 男女共同参画宣言とその後の具体的取り組みについて</p> <p>(1) ウクライナへのロシアの武力での侵略行為を受けての核の共有論など危険な論調があるが雲南市の平和行政の推進について</p> <p>(1) 昨年の災害を教訓として市はどのような備えを行っているのか</p> <p>(2) 避難所整備、防災用品の整備などはどのような整備方針か</p>	
15	15	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 市長の市政運営について	<p>(1) コロナ、災害からの復興元年と銘打っておられるが、市民からは市政を前に進めるこれといった成果が見えず、停滞しているのではないかという声が上がっている。何をいつどのように成果につなげていくのか。</p> <p>(2) 島根県のコロナ対策（制限・規制）は、他県よりも厳しすぎるの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. さくらのまちづくりとさくら祭りについて</p> <p>3. 当面の課題への対応について</p>	<p>ではないか。今後、ウィズコロナの生活やまちづくりを進めていかなければならないが、それが見えない。どう考えているか。</p> <p>市長にとって、さくらのまちづくりとさくら祭りはどういう位置づけで、どうあらねばならないと考えているか。</p> <p>(1) 食の幸発信推進事業 中止に伴う後処理に関して、地権者への対応、JA との今後の連携、テナントへの支援に問題はないか。</p> <p>(2) 既存施設の活性化策</p> <p>① 清嵐荘 リピーターのお客さんを増やさなければならぬが、お客さんの声をどう生かし、何をどう改善して集客増につなげていくのか。</p> <p>② 道の駅 これまであまり手をかけてこなかった道の駅に対し、活性化ビジョンを策定し、テコ入れを図ることは結構なことである。位置づけを明確にし、それぞれの特色を生かしたハード、ソフト両面からの早急な対策が必要ではないか。</p> <p>③ コトリエット 好転の動きが見られない。市の顔である中心部がこれでいいのか。抜本的なテコ入れが必要ではないか、どうする考えか。</p> <p>(3) 木次子育て支援センターのあり方について 三刀屋への移転・統合は現場、利用者への配慮が足らず、拙い判断であった。現行体制・環境の維持が最低条件であるから、新設して要望に応え、子育てするなら雲南市を具現すべきだ。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 長期的課題への 対応について	<p>(4) 木次線の存続に向けて 観光がメインの鉄道ではなく、通常の利用が増えなければならないが、目標や方策があるのか。</p> <p>(5) 教員不足について 教員不足が全国的な問題になっている。教育の根幹であり、あってはならない事態だ。雲南省の現状はどうか。原因と責任はどこにあり、どう対策を講じるのか。</p> <p>(1) 人口減少対策 ①2060年に人口が安定化するとの見通しが示されたが、それまでは減少が続くということか。 ②働く場の確保・創出のために、企業誘致、企業留置、事業承継等に一層力を入れて取り組まねばならず、産業振興センターの役割はきわめて重要だ。機能する体制となっているか。 ③三世帯同居住宅の改修助成はあるが、Uターン者の同居住宅改修補助が必要ではないか。</p> <p>(2) 脱炭素社会実現に向けて 一人残らず市民全員が取り組まねばならないが、その必要性や意義がわからない人がたくさんいる中で、意識啓発等により土壌をどうやってつくっていく考えか。</p> <p>(3) 学校施設整備について 将来の大きな課題、負担となるのが膨大なインフラ・公共施設の維持管理・更新をどうするかだ。学校については着手から完成まで年数を要することから財政的・事務的負担の平準化を図って対処すべきだ。例えば、木次中学校は前倒しして事業着手すべきではない</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				か。	
16	12	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 労働者協同組合法について 2. 今後のウクライナからの避難者受け入れについて 3. 永井隆記念館開館1周年と上代タノ先生について	労働者協同組合法が本年10月1日に施行される。 (1)この法の施行によって何が変わるのか。 (2)施行までに余り時間が無いと考えるが、交流センターを含む行政関係者への研修、市民に向けての情報提供や周知をどのように考えているのか見解を伺う。 (3)法の施行後、様々な問い合わせ等があると予想される。庁内の担当窓口を何処に置くのか伺う。 (4)日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）が法の施行にあたり、啓発等を行なっている。この日本労働者協同組合についてどのような認識か伺う。 (1)未だ終息の見えないロシアによるウクライナ侵攻。子どもを含む多くの一般市民がその尊い命を奪われた。国は身寄りのない方々の受け入れも開始した。市長はウクライナからの避難者受け入れを表明しているが、身寄りのない方の受け入れについて、対応と支援のあり方について伺う。 永井隆記念館が令和3年4月20日にリニューアルオープンしてから、1周年を迎えた。コロナ禍でのオープンであったが多くの市民や、近傍の学生などが来場し、平和学習の拠点としての位置付けにふさわしい存在感を感じている。一方、本市の教育基本計画に永井隆博士と並列列記されている上代タノ先生に対する宣揚は物心共に永井博士の比ではないことは明らかである。 (1)永井隆記念館が開館する直前の令和3年3月定例会で上代タノ先生について質問及び提案を行なっている。1年余りの月日が経過	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 子どものマスク 着用について	<p>した。その後、上代タノ先生についてどのような取り組みがされたのか伺う。</p> <p>(2) 両氏の活躍された時代背景には明らかなる違いがあるが、平和、人権に対して尽力されたことは、同等であると考え。今後の宣揚の仕方について見解を伺う。</p> <p>(3) 永井隆記念館開館1周年の記念イベントも計画されている。合わせて上代タノ先生の特別展を企画してはどうかと考える。またその後は準常設展として、郷土の偉人コーナーの設置は出来ないか見解を伺う。</p> <p>厚生労働省の専門家組織「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」は5月19日、屋外や小児のマスク着用について見直しを求める提案を示している。小児のマスク着用は、熱中症リスクや発達への弊害が懸念されており、一律に着用を求めない時期にあるとされている。この中では小学生等への考え方も明確にされ、「熱中症リスクが高い場合は、登下校時にマスクを外すよう指導」「屋外の運動場やプールでの体育の授業や休憩時間における運動遊びにおいてもマスクの着用は不要とする」等の対応が考えられると提案。十分な距離を確保し、会話を控えること等について指導することは必要だとしている。</p> <p>(1) この提案を受け本市としての見解を伺う。</p> <p>(2) 屋内においては基本的に着用と考えるが、授業の内容によっては一切会話をしない場面もあると思う。このような場合におけるマスク着用は必ず必要か。</p> <p>(3) 同調圧力というものがある。マスクの着用、非着用についても同</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>5. 環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化の推進について</p>	<p>調圧力が発生すると考える。あくまでもマスク着用については、個人の状態によるものと考え。子どもたちの間に同調圧力を発生させないためにどのような対応を考えるのか見解を伺う。</p> <p>地球温暖化に伴う異常気象。世界的にも温暖化に起因する異常気象のために、多くの尊い人命が失われ、多くの人々の大切な財産を奪っている。本市でも令和3年7月豪雨において甚大な被害が発生した。</p> <p>(1) エコスクール・プラス、学校施設のZEB化等の推進について</p> <p>地球温暖化や激甚化・頻発化している災害等に対し、地球規模での環境問題への取り組みであるSDGsや2050年のカーボンニュートラル達成に向け、全国で取り組みが活発化している。本市においても脱炭素宣言を予定している。</p> <p>公共建築物の中でも大きな割合を占める学校施設の老朽化がピークを迎える中、教育環境の向上と共に学校施設を教材として活用し児童生徒の環境教育を行う「環境を考慮した学校（エコスクール）事業」が行われてきた。</p> <p>令和4年度からは「地域脱炭素ロードマップ（国・地方脱炭素実現会議）」に基づく脱炭素選考地域などの学校のうち、ZEB Readyを達成する事業に対し、文部科学省から単価加算措置（8%）の支援が行われており、平成29年から今まで249校が認定を受けている。残念な事に県内では、平成30年度に現在の松江市立義務教育学校玉湯学園が認定を受けたのみである。本市でもこの事業に取り組む考えはないか見解を伺う。</p> <p>(2) 教育効果について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				太陽光発電や壁面緑化、自然採光等を取り入れた学校施設（身近な教材）を通じて、仲間と共に環境問題や環境対策を学ぶことができ、科学技術への触発となると共に、最新のデジタル技術等を学ぶ貴重な教育機会になると考える。更には、SDGs やカーボンニュートラル達成の観点から、環境問題、エネルギー問題、温暖化問題を考える上で実生活の中（身近な教材）での教育は理解が進むと共に、地球環境の問題に、現実直面することにより、グローバルな視点を持つきっかけとなると考えるが見解を伺う。	
17	11	松林孝之 (一問一答)	1.8年後の「島根かみあり国スポ・障スポ」について	<p>本市で開催が予定されている競技はソフトボールとレスリングと示された。</p> <p>(1)ソフトボール競技について</p> <p>①ソフトボールは一般男女・少年男女の4種目であるが、開催地は本市以外に出雲市と飯南町も開催地となっているが、どれを誘致するのか。</p> <p>②会場整備計画は。</p> <p>③競技関係者との調整の進捗状況は。</p> <p>④指導者の確保対策は。</p> <p>⑤選手の確保と育成計画は。</p> <p>(2)レスリング競技について</p> <p>①会場整備計画は。</p> <p>②競技関係者との調整の進捗状況は</p> <p>③指導者の確保対策は。</p> <p>④選手の確保と育成計画は。</p> <p>(3)将来にわたり地域文化として根付かなければならない。そのため</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 防災について	<p>には準備段階から競技に対する地元意識の醸成が何より大切である。</p> <p>①学校との連携は。</p> <p>②スポンサー企業や地元事業者との連携は。</p> <p>③地域との連携は。</p> <p>(4)市内開催(ソフトボール・レスリング他)以外の競技、また、障がい者スポーツ大会への参加を目指す選手や指導者へのサポートも重要であるが、本市の取り組み方針を伺う</p> <p>本年3月には地域自主組織と災害対応の基本協定が結ばれ、消防団の風水害時活動マニュアルが策定された。</p> <p>(1)指定避難所について</p> <p>地域自主組織は、人口や面積、土地環境にかなりの差があり、一律では図れない中、避難所開設は行政で行うとされている。災害種別や規模を考慮し開設施設を決定しなければならないが、加茂町は豪雨災害時にひとつの交流センターで全域を網羅しなければならない。他地域では1つの総合センターに対し複数の交流センターがあり、地区ごとの情報収集と伝達で構成される。加茂地区も同様に災害種別とエリアを区切った避難所の開設が必要と考えるが情報伝達のスキームをどう構築するのか。</p> <p>(2)雲南市消防団について</p> <p>雲南市消防団風水害時活動マニュアルが策定された。活動内容に河川等危険個所の警戒巡視の項目があり、巡視活動から報告手順が示されているが、現場から現地対策本部までの階層が多すぎる。緊急性をベースに連絡報告体制を組むべきでは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(3)災害時の情報共有について 災害情報投稿システムとして、市民代表や消防団員による動画や写真をアップする地区内災害情報提供ホットラインを創ってはどうか。</p> <p>(4)情報管理体制について 平成30年9月定例会において「焼津市」の防災センターの取組みを紹介した。迅速かつ的確な対応と判断をするために現場映像を複数モニターで同時に確認することができる体制を整えられていた。本市の危機管理モニタリンググループの設備ではとても十分とは言えない。本庁舎と総合センター、更には災害現場における双方向での情報管理こそ責任ある情報伝達が可能となる。危機管理センタールームの機能アップが必要ではないか。</p>	